

中学地理プリント（過去問類似）

アフリカ州

名前

得点

/8

問1 アフリカの国境線の特徴と、それが独立後の社会に与えた影響について述べた文として正しいものを選びなさい。（2019年 静岡公立

入試 類似）

1. 植民地時代の境界線が独立後も維持されたため、民族の分布と国境が一致せず、内戦や国境紛争の一因となった。
2. 山脈や河川などの地形を利用した自然国境が大半を占めているため、国境をめぐる対立はほとんど発生していない。
3. 独立時にすべての国境が民族の分布に基づいて引き直されたため、アフリカ全土で言語や宗教による統一が図られた。
4. 人為的な国境線はサハラ砂漠周辺の無人地帯に限られており、沿岸部の居住地域では伝統的な境界が守られている。

問2 日本がアフリカ諸国との外交において基本方針としている、アフリカの国々が自らの責任で主体的に国づくりを行うことを尊重する姿勢を、一般的に何と呼びますか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 自助努力（オーナーシップ）
2. ブロック経済
3. 排他的経済水域
4. 単一文化（モノカルチャー）経済

問3 2019年のカメルーンの輸出統計では、原油が39.3%、木材が14.1%、カカオが12.3%となっており、上位3品目だけで輸出額全体の約3分の2を占めています。このような経済状況にある国々が共通して抱える課題として、最も適切なものはどれですか。（2022年 大分県公立入試 類似）

1. 国際価格の変動や作物の不作が、国全体の経済に深刻な影響を及ぼしやすい。
2. 特定の製品に特化しているため、工業化が進みやすく、景気が安定しやすい。
3. 輸出を優先することで、国内の主食となる農産物の自給率が飛躍的に高まる。
4. 先進国との公平な貿易が維持されるため、農家の所得が天候に関わらず安定する。

問4 アフリカ大陸の南部に位置するボツワナでは、輸出額の約8割をダイヤモンドという特定の鉱産資源が占めています。このように、少数の農産物や資源の輸出に経済が強く依存している構造を何といいますか。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. モノカルチャー経済
2. プランテーション
3. 加工貿易
4. 持続可能な経済

問5 アフリカ諸国が、それまでの「アフリカ統一機構（OAU）」を解消し、新たに「アフリカ連合（AU）」を発足させた背景にある考え方として、最もふさわしいものを選びなさい。（2020年 福島県公立入試 類似）

1. 内政不干渉の原則を緩和し、域内の紛争や人権問題にアフリカ諸国が自ら積極的に介入して解決するため。
2. 旧宗主国であるヨーロッパ諸国との経済援助関係をすべて断ち切り、鎖国的な経済政策をとるため。
3. アフリカ州独自の共通通貨を即座に導入し、アメリカドルやユーロに対抗する経済圏を確立するため。
4. 加盟国を産油国のみに限定することで、資源価格の決定権をアフリカ諸国で独占するため。

問6 2013年の統計におけるカカオ豆の世界シェアについて、31.6%を占めるコートジボワールに次いで、第2位の18.2%を占めている国はどこですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. ガーナ
2. カメルーン
3. ナイジェリア
4. インドネシア

問7 ナイジェリアの輸出統計において、原油が圧倒的な割合を占めている現状を踏まえ、国際価格が下落した際にナイジェリア経済に生じる現象として、正しい説明はどれですか。（2023年 奈良公立入試 類似）

1. 輸出総額が大幅に減少し、教育やインフラ整備などの国家プロジェクトのための予算が不足する。
2. 原材料を安く仕入れることができるようになるため、国内の製造業が活性化し、景気が浮揚する。
3. 輸出先を特定の国から全世界へ広げることで、価格下落による損失を補填できるようになる。
4. 輸入依存度が低いいため、輸出価格の変動が国内の物価や経済活動に影響を与えることはほとんどない。

問8 アフリカ西部のギニア湾に面するコートジボワールでは、国の輸出額の多くをカカオ豆などの特定の農産物に依存しています。このように、少数の特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造を何といいますか。（2021年 香川公立入試 類似）

1. モノカルチャー経済
2. プランテーション農業
3. 輸入置換型工業
4. 持続可能な経済

答え合わせ・解説

問1	答え 1 植民地時代の境界線が独立後も維持されたため、民族の分布と国境が一致せず、内戦や国境紛争の一因となった。	アフリカの多くの国々は、1960年の「アフリカの年」を中心に独立を果たしましたが、国境線は植民地時代のものがそのまま引き継がれました。本来の民族の分布や歴史的なつながりを無視して引かれた人為的な境界線により、国内での民族対立が激化したり、国境をまたぐ民族移動が制限されたりするなど、政治・社会の不安定化を招く大きな要因となりました。
問2	答え 1 自助努力（オーナーシップ）	日本はアフリカ支援において、相手国が自立した経済発展を遂げることを重視しています。この「自らの手で国を発展させる」という姿勢を尊重する考え方を「自助努力（オーナーシップ）」と呼びます。TICADでは、この考え方と国際社会による「連帯（パートナーシップ）」が両輪として掲げられ、一方的な支援ではない協体制が目指されています。
問3	答え 1 国際価格の変動や作物の不作が、国全体の経済に深刻な影響を及ぼしやすい。	特定の資源や農産物に依存している場合、それらの国際市場での取引価格が下落したり、天候不順によって収穫量が減ったりすると、国全体に入ってくる外貨が大幅に減ってしまいます。このように、自国の努力だけではコントロールできない外部要因によって経済が左右されやすい点が、モノカルチャー経済の大きな弱点です。
問4	答え 1 モノカルチャー経済	アフリカの国々に多く見られる、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼り切った経済体制を指します。かつての植民地支配の影響で、宗主国が必要とする特定の産品のみを生産する仕組みが整えられたことが背景にあります。大規模農園を指す「プランテーション」と混同されやすいですが、こちらは生産体制を指す用語であり、経済構造全体を指す場合はモノカルチャー経済と呼びます。
問5	答え 1 内政不干渉の原則を緩和し、域内の紛争や人権問題にアフリカ諸国が自ら積極的に介入して解決するため。	旧組織のOAU（アフリカ統一機構）は「内政不干渉」を強く掲げていたため、各国内部で起きる紛争や人道危機に十分に対処できませんでした。AUは、ヨーロッパ連合（EU）をモデルに統合を深め、加盟国間の紛争への軍事介入も可能にするなど、アフリカの諸問題をアフリカ人自らの手で解決する姿勢を強めています。
問6	答え 1 ガーナ	ギニア湾沿岸に位置するガーナは、カカオの生産において世界的なシェアを誇ります。同じ西アフリカのコートジボワールとともに、世界のカカオ生産の大部分を担っていますが、特定の農産物に依存する経済からの脱却が経済成長の鍵とされています。
問7	答え 1 輸出総額が大幅に減少し、教育やインフラ整備などの国家プロジェクトのための予算が不足する。	輸出の大部分を原油に依存している場合、原油の国際価格が下がると、国全体の稼ぎである輸出総額が激減します。その結果、政府の税収も減るため、道路や学校の建設といった社会開発に必要な資金が確保できなくなり、国民生活に悪影響を及ぼすこととなります。この不安定さを解消するために、アフリカ諸国では工業化による産業の多角化が課題となっています。
問8	答え 1 モノカルチャー経済	アフリカの多くの国々では、かつての植民地支配の影響により、特定の農産物や鉱産資源を輸出用に生産する仕組みが残されました。この構造は、国際価格の変動が国の経済に直接大きな影響を与えるという課題を抱えています。